

「2016 国際ウエルディングショー」 「人とくるまのテクノロジー展 2016 横浜」 および 「人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋」 への出展

田中健一郎^{*1} 西浦 孝^{*2} 前原 裕人^{*3}
Tanaka Kenichirou Nishiura Takashi Maehara Akihito

1. 2016 国際ウエルディングショー

2016年4月13日～16日の4日間、インテックス大阪にて開催された「2016 国際ウエルディングショー」にIIC製品および技術内容を出展した。本展示会は隔年で開催されており、2014年の東京開催に続く出展となった。

IICは主として溶接関連製品、技術サービスの受注拡大を目的に、中でも昨春発売を開始した「レーザクリア」および同機の背負い型「バックパックタイプ（コンセプト発表）」の実機を中心にパネルと併せて展示をした。

会期中は展示ブース内で「レーザクリア 50」によるデモンストレーションを実施した。実際の施工状況が見られるということが好評であり、さらには、非接触かつ化学的手法によらない「レーザクリーニング技術」への関心が、発売を開始した昨年よりもさらに高まっていることが感じられた。

開催期間中は比較的天候にも恵まれ、IICブースには多数の来場者があり、約90名から名刺を受領した。会場来場者の業種は鉄鋼・金属、産業機械、自動車・輸送機器など多岐に渡った。さまざまな業種に「レーザクリア」をはじめとするIICの製品や技術サービスをPRできる良い機会となった。

来場いただいた方へのフォローを通じて、引き続き受注拡大活動に取り組む。

〔IICの出展品〕

- ・「レーザクリア 50」（パネル・実機展示、実演）
- ・溶接部の可視化解析技術（パネル展示）



写真1 2016 国際ウエルディングショー

2. 人とくるまのテクノロジー展 2016 横浜

2016年5月25日～27日の3日間、パシフィコ横浜にて開催された「人とくるまのテクノロジー展 2016」（主催：公益社団法人自動車技術会）にジャプス事業部とともにIIC製品および技術内容を出展した。

本展示会は、自動車業界の第一線で活躍する技

*1：営業統括部 第二グループ 課長

*2：営業統括部 第二グループ

*3：営業統括部 中部営業所 所長

術者・研究者のための自動車技術の専門展として1992年に始まり、現在では国内でも有数の出展規模を誇る。今年の総出展社数は538社／1,155ブースで、3日間の総来場者数87,375人となり、IICブースにも145名の方にお立寄りいただいた。

IICは、自動車関係の製品紹介として非接触のレーザクリーニング装置「レーザクリア50」、残留応力関連の計測サービスとして、「高温環境下での応力／振動測定」、「穿孔法（金属・プラスチック）」、X線残留応力測定装置「X-3000」、自動車1台丸ごと検査できる中型X線検査装置「IXI950」、燃料電池車用の水素タンクの健全性確認のためのAE計測装置「AMSY-6」を展示した。また、ジャプス事業部の製品として蒸散ガス測定装置「VT-SHED」、燃料の発火点をみる「マイクロフローリアクタ」、燃料電池を開発・評価するための「燃料電池評価装置」、工場内のガス供給設備の「標準ガス設備」を紹介した。

このうち、「レーザクリア50」については、PRビデオを流したこともあり、展示物の中で一番関心が高く、デモンストレーションについての相談もあった。また残留応力測定関連の計測サービスでは、金属・樹脂加工業者や自動車部品製造会社の方々に興味を持っていただき、相談も多く受けた。

今後は、お立寄りいただいた来場者に対しフォ



写真2 人とくるまのテクノロジー展 2016 横浜

ローをし、新規案件につながる営業活動をしていく。

一方、来場いただいた既存の客先については、既に各グループにてフォローを行っており、今後の受注拡大へとつなげていく。

〔IICの出品品〕

- ・「レーザクリア50」（パネル展示、PRビデオ）
- ・ 残留応力測定「穿孔法」（パネル展示）
- ・ 高温環境下の応力／振動測定（パネル展示）
- ・ X線残留応力測定装置「X-3000」（パネル展示）
- ・ 中型X線検査装置「IXI950」（パネル展示）
- ・ AE計測装置「AMSY-6」（パネル展示）
- ・ 蒸散ガス測定装置「VT-SHED」（パネル展示）
- ・ 「マイクロフローリアクタ」（パネル展示）
- ・ 燃料電池評価装置（パネル展示）
- ・ 標準ガス設備（パネル展示）

3. 人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋

2016年6月29日～7月1日の3日間、ポートメッセなごやで開催された「人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋」にIIC製品および技術内容を出展した。

本展示会は「その先のテクノロジーが見える」をコンセプトにしており、さらには世界へ向けて最新技術・製品を発信する自動車技術者のための国内最大の技術展である。また、今回の開催は、5月の横浜開催に続く連続開催であり、国内自動車メーカーを中心に、自動車部品メーカーや関連メーカー532社が出展した。

名古屋での開催は2014年の第1回開催に続き今回が2回目で、開催期間3日間とも気温も関心も『あつい』展示会であった。

IICブースには、各自動車メーカーをはじめ、自動車部品メーカーなど多数の来場者があった（展示会全体：38,584名、IICブース来場者：86名（名刺））。

ジャプス事業部の製品では、蒸散ガス測定装置

「VT-SHED」および「蒸散ガス計測」に来場者の関心が高く、会期後に、新規のお客様へ面談・訪問をする。

また、検査・計測・機器装置事業部関連では、「レーザクリア」を主力にし、「X線・穿孔法による残留応力計測サービス」、「高温環境下の応力／振動測定」、「IXI950シリーズ」、AE装置「AMSY-6」をパネル展示した。中でも特に、「レーザクリア」はプロモーション映像を放映したこともあり、来場者の関心が高かった。

横浜開催と同様にアンケート記入用紙を作成・活用して、きめ細かに来場者から質問内容、関心

度などの情報をお聞きした。会期後に優先順位をつけ、訪問およびPRといったフォローをする。

本展示会は、2014年の第1回開催に比べ、来場者、規模ともに拡大しており、中部地区での自動車関連産業を中心とした景気向上、関心の高さが感じられた。

今後も拡大・発展が見込まれる中部地区の自動車関連業界に対して、IICの製品や技術を紹介し、新たなお客様、新たな受注を増大させるよう活動していく。

〔IICの出品品〕

- ・「マイクロフローリアクタ」(パネル展示)
- ・蒸散ガス測定装置「VT-SHED」(パネル展示)
- ・燃料電池評価装置(パネル展示)
- ・標準ガス供給設備(パネル展示)
- ・「レーザクリア50」(PR映像、パネル展示)
- ・X線残留応力測定装置「X-3000」(パネル展示)
- ・高温環境下の応力／振動測定(パネル展示)
- ・残留応力測定「穿孔法」(パネル展示)
- ・中型X線検査装置「IXI950」(パネル展示)
- ・AE計測装置「AMSY-6」(パネル展示)
- ・IIC企業パネル(パネル展示)



写真3 人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋



営業統括部
第二グループ
課長
田中健一郎
TEL. 03-6404-6271
FAX. 03-6404-6044



営業統括部
第二グループ
西浦 孝
TEL. 03-6404-6193
FAX. 03-6404-6044



営業統括部
中部営業所
所長
前原 裕人
TEL. 052-583-6855
FAX. 052-565-7709